

空調和・衛生工学会道支部

# 活動を次世代へ

設立60年記念式典で決意

空調和・衛生工学会  
北海道支部は17日、設立  
60年記念式典と記念講演  
会を札幌ガーデンパレス  
で開いた。秋元孝之会長  
のほか、設備関係の学会  
や業界団体などから来賓  
を招いて、総勢50人が支  
部活動を次世代へつなげ  
る決意を共有した。

齊藤雅也支部長は、1  
965年11月の発足当時  
に思いを寄せ「寒冷地の  
厳しい暮らしが強いられ  
る中で、新しい設備のイ  
ノベーションが求められ  
た。諸先輩の努力は大き  
なものだったのでは」と  
指摘。現代は環境問題な  
どへの注目度で新たな知見  
が求められるようになり  
「技術開発、研究、地域  
貢献はまだ課題が山積  
み。次世代の若い人たち

に活躍してもらおうのが  
事なテーマ」と展望した。  
講演会には学生を含む  
約100人が参加。同学  
舎元会長である早稲田大  
建築学科の田辺新一教授  
が、2030年以後に要  
求される建築物のカーボ  
ンニュートラル対応につ



活動を次世代へつなげる決意を新たにした

いて政府や諸外国の動き  
を踏まえて解説した。  
長年の支部活動をたた  
え、北海道科学大の半澤

久名督教授、たかまつ技  
術士事務所の高松康一所  
長へ齊藤支部長が感謝状  
を贈呈した。

北海道建設新聞 2024年10月21日発行

掲載許諾済(2024年11月1日)